

昔のひとのくらしのあとをさぐる（校区の主な遺跡）

■起し又遺跡（縄文時代／曲谷）

姉川と合流する起し又川沿いの南斜面（標高約425m）で見つかりました。縄文時代中頃（約4,000年前）を中心とした遺跡です。発掘調査では、5軒の家の跡やお墓。東日本や中部日本、近畿や瀬戸内地方の土器が見つかり、縄文時代に、各地との活発な人やモノの行き来があったことがわかりました。



起し又遺跡

■ミミ塚古墳・人塚古墳（古墳時代／上野）

上野と弥高的境の伊吹山のふもとで発掘された古墳時代終り頃（約4,000年前）の古墳です。ミミ塚古墳は直径約15mの丸い円墳だったと考えられます。伊吹山の石灰岩で作られた横穴式石室（死者を納めた部屋）からは、そなえられた土器や鉄の刀、馬の道具、金銅製の耳飾り、人骨などが出土しました。石室は伊吹山文化資料館に復元されています。



人塚古墳

■弥高寺跡（奈良～中世／弥高／国文化財）

■長尾寺跡（奈良～中世／大久保／市文化財）

平安時代に建てられた伊吹山護国寺が分かれて、伊吹山中に弥高寺・太平寺・觀音寺・長尾寺の四力寺ができます。弥高寺は、伊吹から南にのびる尾根の中ほど標高約700m付近にあり、弥高百坊といわれるよう、たくさんのお寺跡があります。長尾寺は大久保の集落の山側に60カ所をこえるお寺跡が扇の形に広がっています。



山の中腹にある弥高寺跡

■峠のシシ垣（江戸時代／小泉・大久保／市文化財）

田んぼや畑に入り込んだシカやイノシシは、ひとばんで大切な作物をだめにしてしまいます。小泉の南に張り出した台地は「峠」とよばれ、むかしから農耕地として利用されてきました。江戸時代終わりごろに、高さ約2メートル、長さ（延長）約2キロの石垣が、大切な田畠を山の動物から守るために築かれました。石はすべて伊吹山でとれる石灰岩です。



峠のシシ垣

■曲谷臼石切り場跡（江戸時代／曲谷）

曲谷は石臼（粉挽き臼）作りの里として知られています。集落の北で姉川に流れ込む起し又川の上流に、花崗岩という石を切り出した岩や、石を割るために彫られた穴がある石材がころがっています。曲谷では、鎌倉時代の終わりごろから石の加工がはじめられ、江戸時代には石臼が作られていました。



曲谷臼石切り場跡

【資料館を利用しよう!】

奥伊吹 ふるさと伝承館

（米原市甲津原）

開館日：土・日・祝日

※冬季休館

開館時間：10:00～15:00

伊吹山文化資料館

（米原市春照77）

開館時間：9:00～17:00

休館日：毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始

入館料：一般200円、小人100円

※団体割引あり



2

光さやかに 田の面輝き
こだまも楽し 工場の響き
高き学びや 生氣あふれ
伸びゆく力 たくまし
おおわれらの伊吹校

希望の姿 うるわし
ああわれらの伊吹校
白き学びや 陽にはえて
若鮎おどる 姉川清し
伊吹の山は 朝雲はれて



学校のまわりの宝物①

伊吹小学校区

東草野小学校区含む

【校 区】

上板並、下板並、大久保、小泉、伊吹、上野、弥高
甲津原、曲谷、甲賀、吉槻（東草野小学校区）

